

市民の安心・安全は推進できたか



石崎たか子 議員

市民生活部長

今後、ごみの分別の見直し等の時期がきたときに、海部地区環境事務組合の構成市町村と調整を図っていくよう、その場へ提議していく。

質問

狭い道路の拡幅や永和台からピアゴに行く道路は大型貨物等通行禁止規制標識がある。歩道は安心・安全第一だが。

経済建設部長

歩道設置については、道路構造令で規定されている。地権者の同意や地元協力が得られる所から考えていく。

質問

防災コミュニティセンター整備計画は、永和地区センターは8千321名で旧地区は一カ所。以前、売却される永和荘が大井・永和台の避難場

所に指定されていた。台風だろつと何かきたときに遠くに行けるはずがない。本当に血の通った安心して暮らせるまちづくりを、ぜひ、お願いしたい。大井地区にももう一ヶ所必要不可欠だが。

企画部長

防災コミュニティセンターの配置状況と市内全体を見、整備計画を作っている。

質問

行政区は平等に扱われているか。合併当時800戸以上あれば分離可能と書かれ、平成18年度以降で検討する旨の答弁があった。平成18年度の総代に永和台との分離を願ったところ、総代会では一言も発言なし。平成23年度の総代さんに分離を取り上げは。

総務部長

大井地区の問題で連絡調整会議の場には議題として上がってきていない。問題が生じてくるようであれば、十分検討していかなければならない。

質問

西尾張の13市町村自治体の平成23年度当初予算比較で愛西市は税収が減、前年度比3.7%のマイナス見込み。一人当たりの地方債は、32万4千円で13市町村で最も多い。

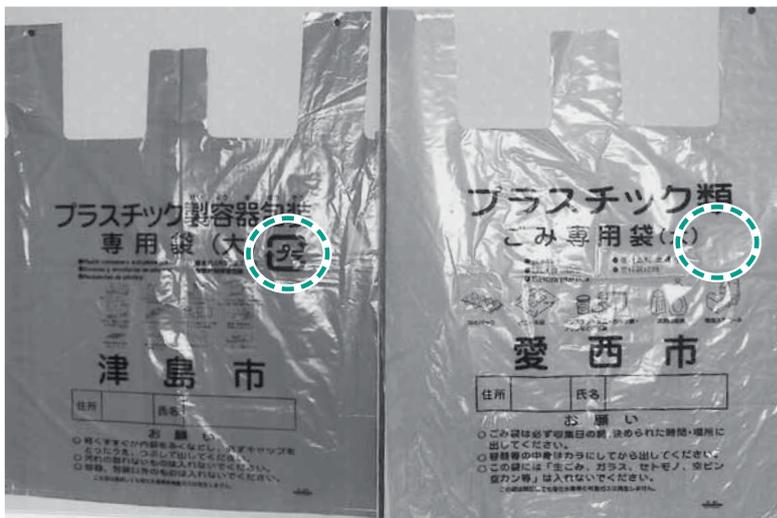
去る、二月の知事選において、愛西市でも現知事が自民・民主を合わせても追いつかない票数を獲得。市民の中に旧態依然としたこの地域の行政に新しい変革を求めている人が多いことが分かった。

ごみ分別の見直しは、津島市と同じ焼却場に運ぶのに方式が違う。

質問

全国的にごみの仕分けが平成12年度から変わってプラマークは既に3分の2の自治体で実施している。東京・名古屋。津島市も実行して4年になる。プラマークの入ったものはブルーのごみ袋。それ以外のビニールやシートは可燃ごみへ。津島市は平成14年からプラマークごみの収集を始めた。市民に分別協力を願う、説明すれば市民の手間が省ける。絵そらごとの計画はやめて、真摯に何が住民にいいか聞きとめてほしいが見解は。

全国的にごみの仕分けが平成12年度から変わってプラマークは既に3分の2の自治体で実施している。東京・名古屋。津島市も実行して4年になる。プラマークの入ったものはブルーのごみ袋。それ以外のビニールやシートは可燃ごみへ。津島市は平成14年からプラマークごみの収集を始めた。市民に分別協力を願う、説明すれば市民の手間が省ける。絵そらごとの計画はやめて、真摯に何が住民にいいか聞きとめてほしいが見解は。



プラマーク入りごみ専用袋